

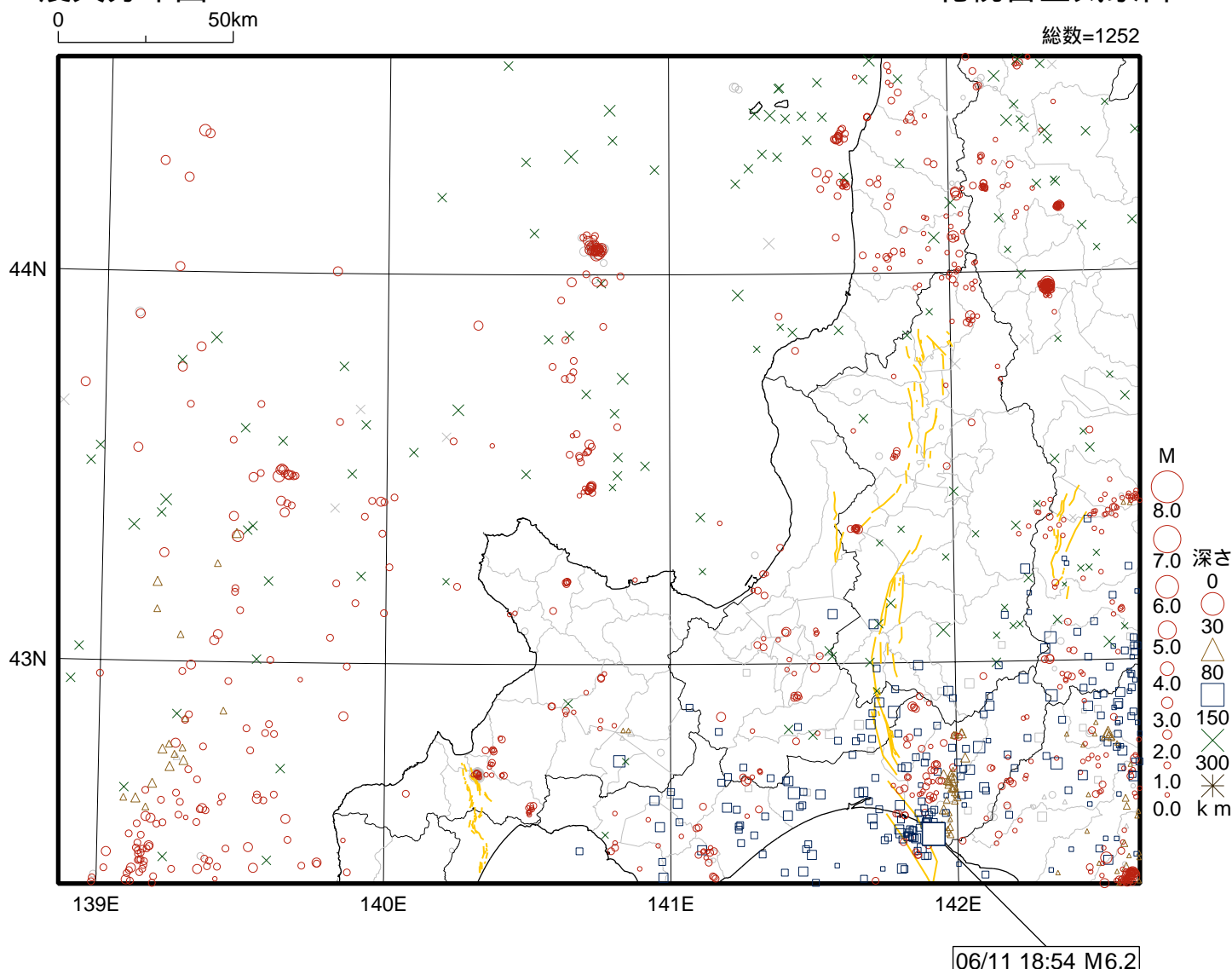
石狩・空知・後志地方の地震活動図

2023年1月1日～2023年12月31日

震央分布図

札幌管区気象台

総数=1252



地震概況（2023年1月～12月）

2023年に石狩・空知・後志地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は33回（2022年は27回）でした。このうち震度4以上は1回（2022年はなし）、年間を通して観測された最大の震度は5弱でした（「2023年石狩・空知・後志地方の最大震度別・月別地震回数表」参照）。

6月11日18時54分、苫小牧沖の地震（M6.2、深さ136km）により、千歳市で震度5弱を観測したほか、石狩・空知・後志地方で震度4～1を観測しました。

情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕です。

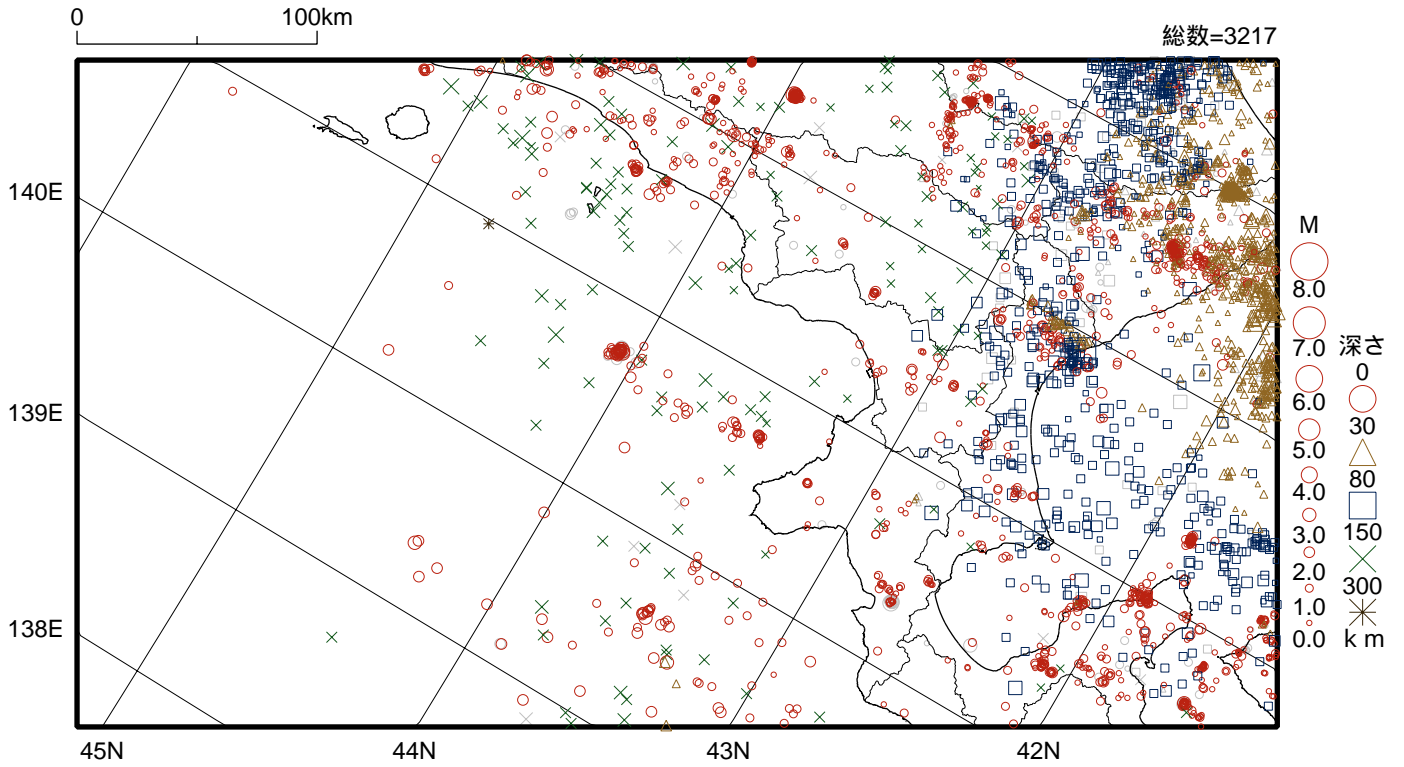
この活動図は、札幌管区気象台のホームページに掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/sapporo/jishin/earthquake_report.html

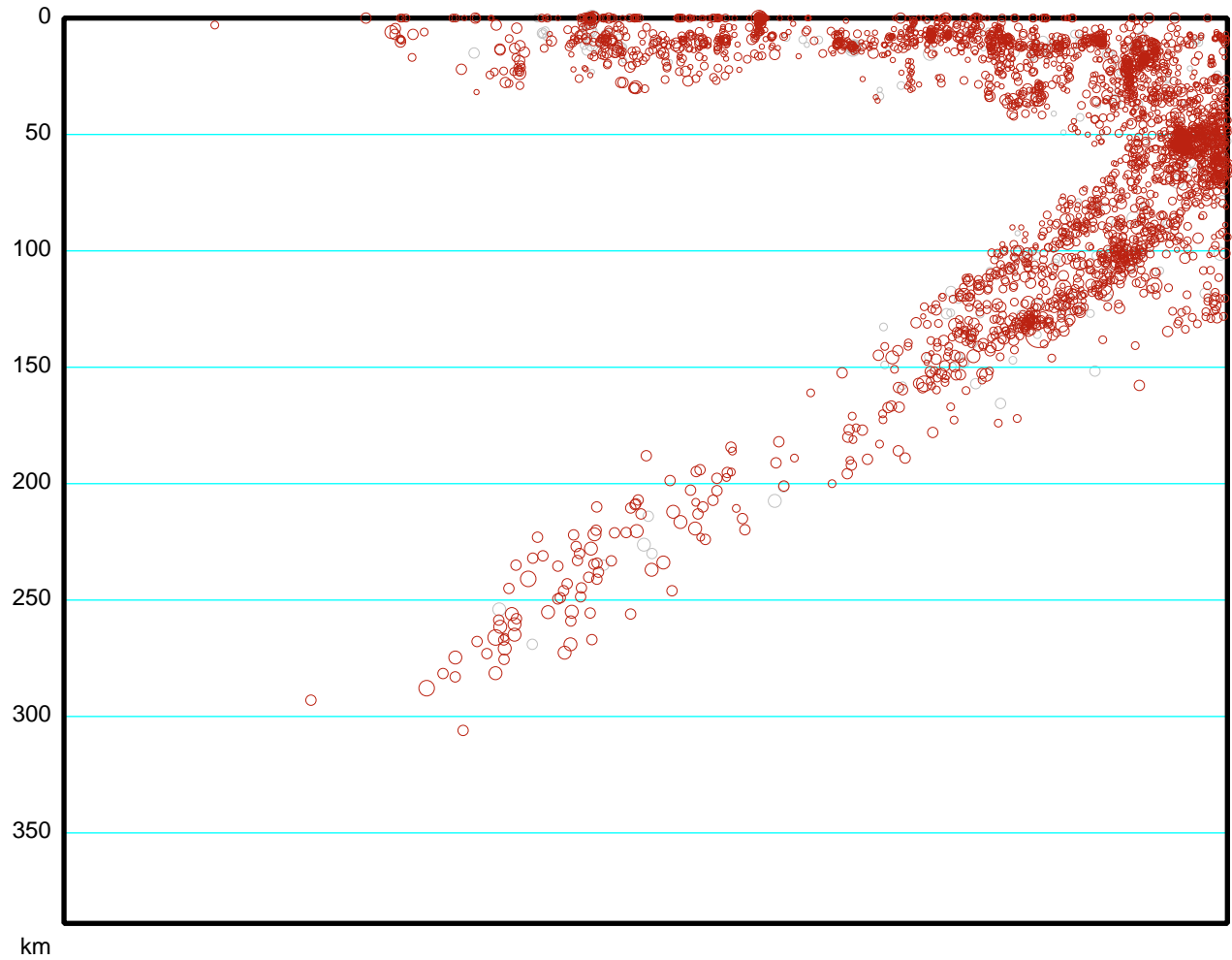
この資料に関する問い合わせ先 札幌管区気象台 地震火山課 TEL 011-611-6125

2023年1月1日 ~ 2023年12月31日

震央分布図



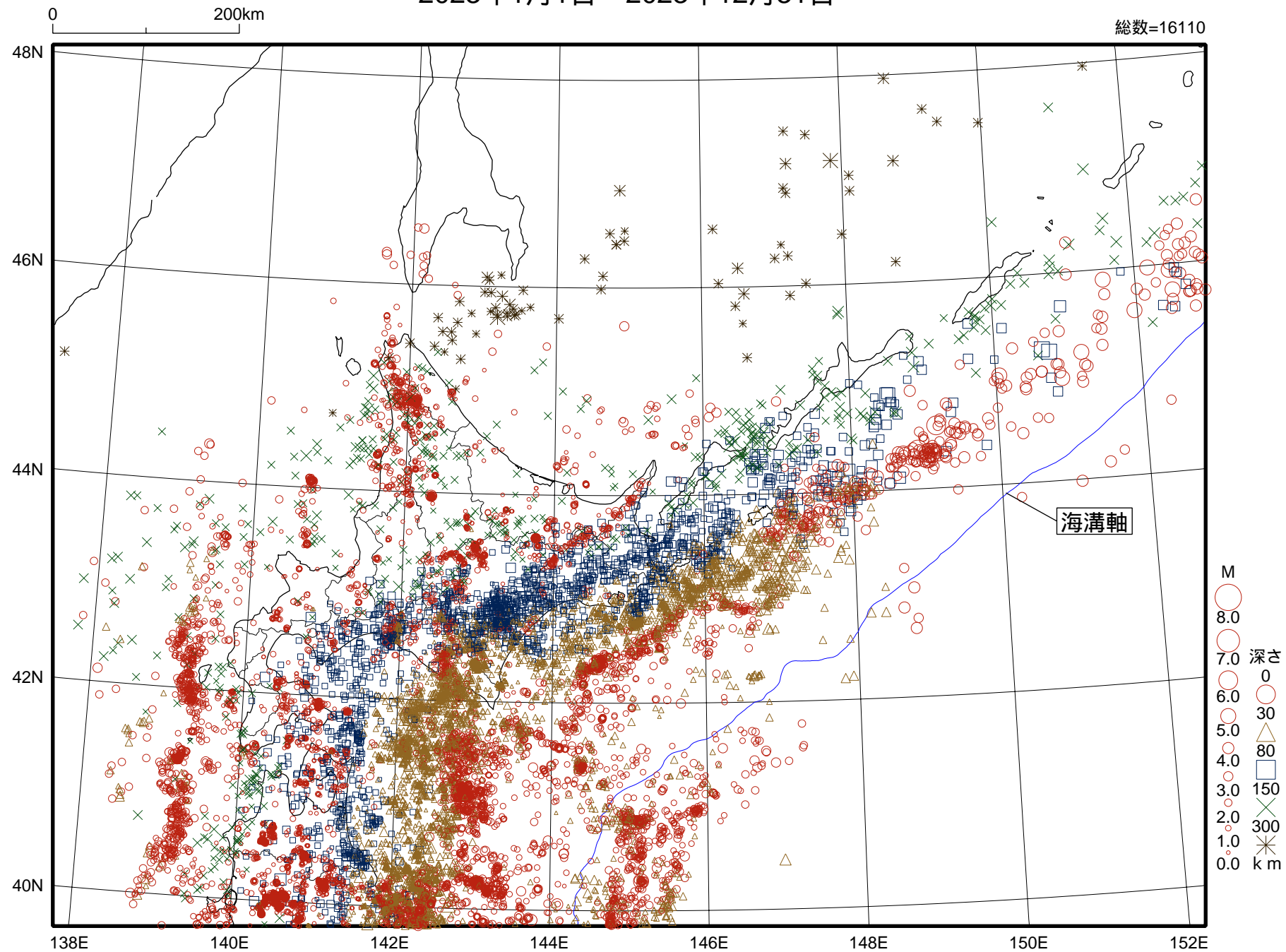
断面図



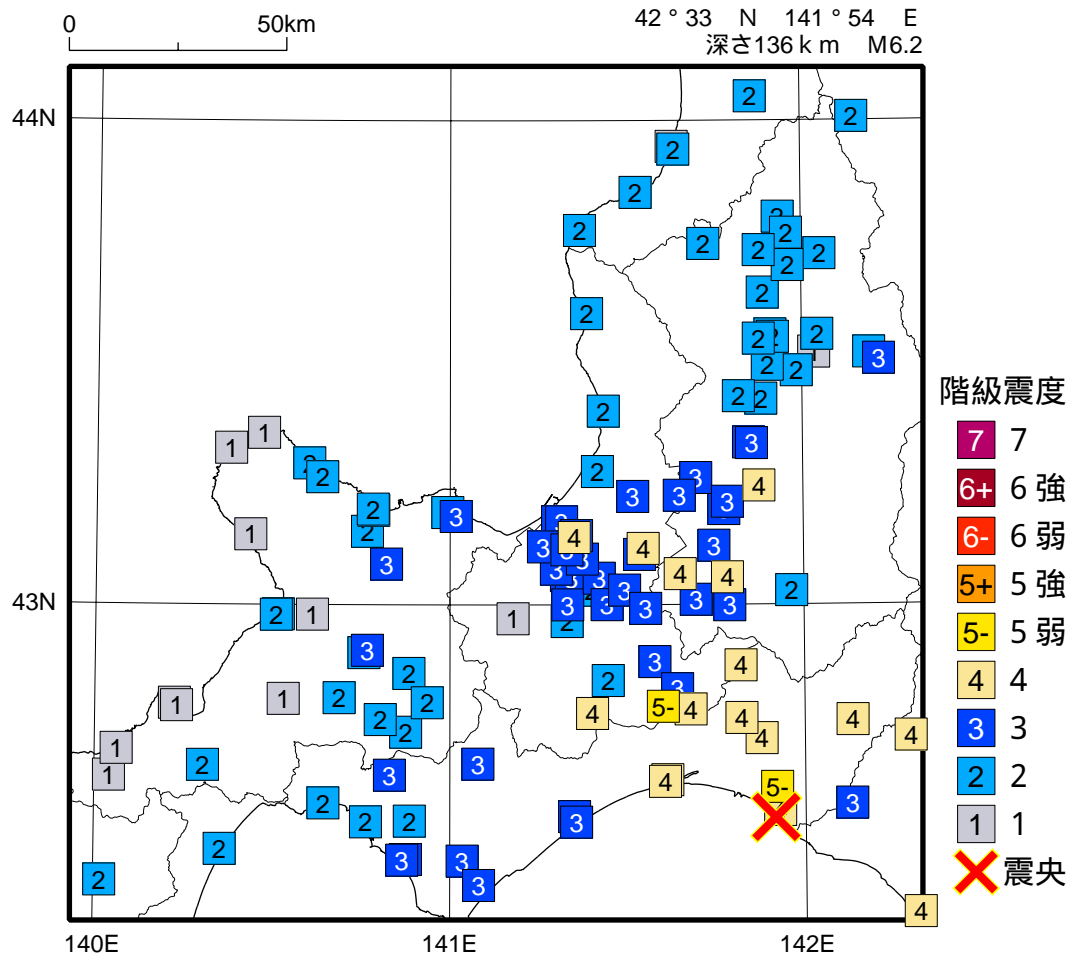
北海道の地震活動図

2023年1月1日 ~ 2023年12月31日

震央分布図



2023年 6月11日18時54分 苫小牧沖の地震の震度分布図

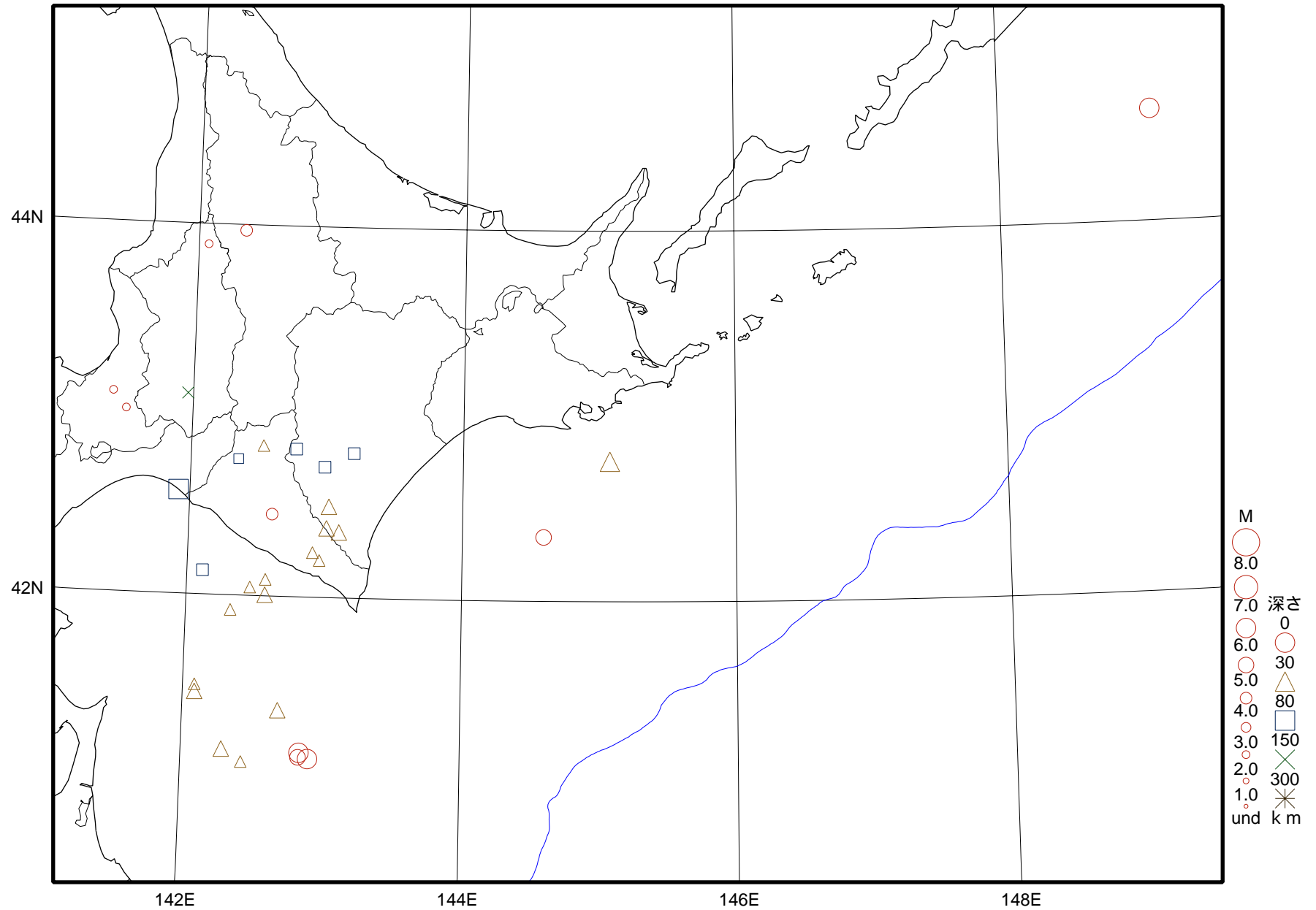


石狩・空知・後志地方の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震の震央分布図

2023年1月1日 ~ 2023年12月31日

0 100km

総数=33



	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
黒松内町黒松内*	3	1								4
蘭越町蘭越*	2									2
共和町南幌似*	1									1
岩内町高台	1	1								2
岩内町清住*	1	1								2
泊村茅沼村*										
神恵内村神恵内*	1									1
深川市1条*	2	1								3
妹背牛町妹背牛*		2								2
秩父別町役場*	1	2								3
北竜町竜西	4	1								5
北竜町和*		2								2
沼田町沼田*	1	1								2
芦別市旭町	6		1							7
芦別市北2条*		1								1
赤平市泉町*		1								1
滝川市大町	3	2								5
滝川市新町*	1	1								2
砂川市西6条*		2								2
歌志内市本町*	1									1
奈井江町奈井江*		2								2
上砂川町上砂川*		1								1
浦臼町ウラウスナイ*	1	1								2
新十津川町中央*		2								2
雨竜町フシコウリウ*		1								1
夕張市若菜	8	1								9
岩見沢市5条	11	1	1							13
岩見沢市鳩が丘*	7	1	1							9
岩見沢市北村赤川*		3	1							4
岩見沢市栗沢町東本町*	9	2	1							12
美唄市西5条	8	3	1							12
美唄市西3条*	3	2	1							6
三笠市幸町*	9	4		1						14
南幌町栄町*	2	7	1	1						11
由仁町新光*	10	1	1							12
長沼町中央*	2	8	1							11
栗山町松風*	6	4		1						11
月形町円山公園*	7	1								8
地震回数合計	18	13	1		1					33

*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

2023年 石狩・空知・後志地方における最大震度別・月別地震回数表

震度 月	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	小計
1	3									3
2	1	1								2
3	1	1	1							3
4	2									2
5	2	2								4
6	2	4			1					7
7	1									1
8	1	2								3
9	1									1
10	1	1								2
11	1	1								2
12	2	1								3
合計 (2022年)	18 (13)	13 (10)	1 (4)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	33 (27)

本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。